ドクターズアテンション　インタビュー

治療が終わったがん患者さんに何をしてあげられるのか

医療法人社団 慈恵会 新須磨病院 理事長 澤田 勝寛

――新須磨病院でのハイパーサーミアの症例などから教えていただけますか。

がん温熱療法（ハイパーサーミア）を当院に導入して今年で5年になります。もともとハイパーサーミアに対して疑わしい思いを持っていなかったと言えば嘘になります。しかし、乳がんから肺に転移した当院の患者さんで、他院でハイパーサーミアを受けられて、7年8年が過ぎても転移した肺がんが悪くならずに平衡状態を保っておられる方が「先生のところもハイパーサーミアをいれてください」と言われるので、京都府長岡京市の近藤元治先生（千春会ハイパーサーミアクリニック）のところにお話を聞きに行ったりして導入を決めました。兵庫県には、ハイパーサーミアを設置している医療機関は少なく、当院に治療を求めて来られる方は、いわゆる「がん難民」と言われる、がん専門病院で見放されたような方々です。手術、抗がん剤、放射線が、がん治療の3本柱で、それらの効果がなければ、緩和ケアに行きなさいと言われたら、患者さんはもう見放されたと思われます。がんが遠隔臓器に転移していると、ステージ4ですが、必ずしも末期というわけではありません。例えば卵巣がんが肺に飛んでもステージ4と言われますが、ご本人は元気なこともあります。抗がん剤が効かなければ、医師からはもう治療はありませんと言われます。こんな方々がたくさんおられます。

当院にこういった方々が来られると、まずハイパーサーミアを行います。さらにもっと何かできることはないかと探していて見つけたのが、水素吸入です。これも、最初は疑っていました。乳がんの患者さんで水素が良いと言われる方がおられたので、私はがんがあるわけではないのですが、水素に関する本を片っ端から読んで、水素発生量を目途に水素発生器を選び、自分も試してみました。くまもと免疫統合医療クリニックの赤木純児先生の、がん療法の一環として水素と抗がん剤を組み合わせた水素ガス免疫療法のお話も聞きに行きました。先生の著書の中には、全ての治療法が効かなくなった患者さんが水素療法で寛解するような症例が紹介されていました。赤木先生の使っている器械は1分間に1200㎖の水素が発生する200万円くらいするものでしたが、それでは個人が家庭用に購入することはできません。そこで600㎖出るリーズナブルな器械を見つけて興味のある患者さんに紹介したりしています。

私はがんではないので、がんに効くかどうかは分かりませんが、毎日水素吸入を続けていて体に良いことは分かります。当院のコロナに罹患した職員が吸ったところ、咳、呼吸器症状が劇的に改善しました。また、抗がん剤の点滴中に水素を吸入すると、副作用が大きく軽減されるなど色々な効果が確認できました。

その他、腰痛が軽減したり、アトピーが軽くなったり、髪の毛が増えた人、冷え性が良くなった人もいます。

がんに関して言えば、患者さんの中で明らかに功を奏している方が3人おられます。

1人目は、多発性の肺がんの女性です。がん専門病院での化学療法が効かず緩和ケアを勧められ、何か治療法がないかと当院を受診されました。ハイパーサーミアと水素吸入を続けたところ、がんが小さくなり、本当に元気になられました。もう先が短いと思っておられたのに、娘さんが結婚されて孫の顔まで見ることができたと、非常に喜んでおられます。

2人目は、膀胱がんが肺転移した男性で、膀胱がんは手術を受けられていますが、肺転移には抗がん剤は使われていません。健康意識の高い方で、今は水素を吸入して、ハイパーサーミアを行っているだけで、肺転移が小さくなってきています。

3人目は、大きな直腸がんで便が出にくくなった男性です。肝転移と肺転移もありました。この方も健康意識が高く、発生量の少ない水素発生器は既に使っておられましたが、2400㎖の器械を紹介して、抗がん剤を使い、ハイパーサーミアと併用したところ、直腸がんが縮小し、肝臓がんも肺がんも小さくなっています。

当院に来られた時は、余命3カ月と言われていたのですが、先日「余命」が取り消されたと喜んでおられました。もちろん抗がん剤と水素とハイパーサーミアのどれが功を奏したのかは分かりませんが、紹介元の医師にも薬剤師にも驚かれるほどに元気になっておられます。

水素はがん以外にもそれなりの効果があり、いろいろな症状を緩和します。「活性酸素を抑える」というのが一番の作用です。がん以外の患者さんでも、体が楽になったと言われる方はたくさんおられます。

よく「エビデンスが・・」と言われますが、エビデンスを取るためには使った人と使ってない人を比べなくてはなりません。がん専門病院で見放された患者さんばかりが来る中で、そんなことはできません。もちろん患者さんの中には、「水素なんて」とおっしゃる方もおられます。前向きで何でもやってみたいという方にしかお勧めはしていません。

順天堂大学では、パーキンソンの治療に、慶應大学では脳出血後の後遺症軽減のために水素療法を使い始めたそうです。

体に悪いのは酸化と糖化と炎症です。酸化をひきおこす活性酸素を抑えるという意味で水素は有用だと思います。

それにしてもがんで辛い思いをされている人が本当に多く、良い緩和ケアができるような施設が必要だと痛切に感じています。

世界最大級の水素発生量で　“不可能”を”可能”に！

水素吸入器　を選ぶなら！　H²メディカルパワー　MEGAシリーズ

水素発生量　600～4800ml/分

水素濃度　99.99%以上！

体感してみてください！　“水素”のパワー！

レンタルできます！最短１か月から

ホームページ　LINE 公式アカウント　各種資料ダウンロード

自社設計・自社製造・製造直販

MAKE MEDICAL 株式会社

無料体験＆オフィス　東京都杉並区和田 3-31-12

TEL03-6824-4399　E-mail:info@make-medical.com